



- 地域再生協議会によるコミュニティFMの説明。
- 救命救急訓練を体験。
- 避難者カードに記入する訓練参加者。
- 住民避難開始、蓮沼スポーツプラザに避難。
- 千葉県防災士会の講話。
- 防災備蓄品の展示。
- 自主防災組織の講習会。

## 地域の連携が不可欠 蓮沼地区で防災訓練を実施

「市民による市民のための防災訓練」をスローガンに掲げ、災害時の防災訓練を11月11日、蓮沼地区住民を対象に蓮沼スポーツプラザで行いました。

午前7時30分、地震が発生し大津波警報が発表され避難指示により、地域住民が徒歩や自転車などで避難を開始しました。

避難所では地区自主防災会が、避難者を誘導し、避難者は、避難者カードに記入。自治会ごとにまとめ避難所運営本部へ報告するなどの避難所開設訓練・情報収集・伝達訓練が行

われました。

また、地域再生協議会による炊き出し訓練やコミュニティFMの説明、九十九里沿岸の津波映像の上映などが行われました。

NPO法人千葉県防災士会から避難者向けに「東日本大震災に学ぶ」市内の区・自治会向けに「自主防災組織の活性化について」と題し講習会がありました。

参加者は、20分程度避難に時間がかかりました。近所の方と一緒に来ました「津波映像を見て、津波の恐ろしさを改めて感じました」と話していました。



## 白幡八幡神社祭礼



白幡八幡神社の祭礼が、10月28日に行われました。(旧暦の9月9日を過ぎた日曜日に行われる) 祭礼に先だち「御旗織」の行事や、東金御殿山からの竹を神社に運ぶ「お竹取り」の行事などが行われました。お龍頭の舞(写真)は、大獅子、子獅子、女獅子の三頭で弓旗を先導に十二番、四方固め、弓ぐり、橋がかりの四舞を舞います。源頼朝によって疫病退散のために奉納されたのが始まりと伝えられています。

カメラマンSUNとくしが撮る!

写

真

館



